

障害者支援施設 悠久会 若菜寮 第一回 地域連携推進会議 会議記録

日時：令和7年11月20日（木）10:30～11:30

場所：若菜寮2階多目的室

出席者：新田町町内会長・島原市市議会議員・島原市役所福祉課・利用者父兄
代表。利用者代表・利用者・各1名

施設より管理者・サービス管理責任者・副施設長 計 9名

施設内の見学実施

副施設長、サービス管理責任者対応

【議題】

1.施設長挨拶

本会議の目的 若菜寮のサービスが適切に行われているか、運営において障がい者の方はなかなか自立した生活といった面が難しいところがあります。スタッフがサポート、サービスを提供する事によって、報酬を頂く、報酬を優勢にサービスが疎かになる事業所とかが実際見受けられます。今日来ていただいだ方には、中立な立場で若菜寮の実態を見ていただく事で運営の透明化が図られ、また、職員も姿勢を正す事にもなり、サービスの質の向上にもつながります。このように対話する事で地域との連携も深まります。会議としたら重たくなるので、意見交換会として進められたらと思っております。

2.出席者紹介

3.施設の概要説明

サービス管理責任者より説明を行う

・別紙にて（若菜寮概要説明）

説明の中で共生型生活介護について、サービスの上で障がい者の生活介護と介護保険サービス高齢の方も利用でいるようになっている。障がい者の方も65歳になると介護保険サービスの適用となるので、現在障がい者の方が日中利用されている。

市議会議員より

QA 老人ホームにおられる方も日中利用できる？

施設長より

生活リズムやコミュニケーション方法に違いがある為、現状では難しい場面

もあると想定されますが利用できます。

障害者の報酬が大きいので国としては、障がい者の方も地域で暮らす上で地域移行を推奨している。(グループホーム)等。 昔の措置時代は行政がこの施設に入りなさいだったが 今は契約の時代。サービスも日中、生活介護か就労か本人など家族が選べる。その為、入所施設も選ばれる時代。現在、入所施設は(若菜寮においても)欠員状態。

入所施設は、相談支援事業所、相談支援員と繋がり。市町から障がい者支援区分の認定を受け。障がい者支援区分の4から6までの重い障がい者の方が利用されている。その中でも、強度行動障害、自分で行動制限できない方、暴力等。

5.意見交換

利用者代表より

若菜寮に入って9月で3年に以前は他のグループホームを利用してましたがうまくいかなくて、若菜寮日中利用してみて家族と相談して管理してくれて安心だなと若菜寮に入りました。3年生活してみて若菜寮に来てから落ち着いていると家族も喜んでくれて、旅行や買い物、外食もあって楽しい経験をさせてもらっています。

障害福祉課より

見学させてもらいイメージとは違い、とても明るい雰囲気でアットホームに感じました。

QA 利用者の方は、一階のフロアにいらっしゃいましたが移動の際はお一人ずつ職員さんがついて移動されているのか?部屋の鍵の用途は?

副施設長より

わからられる方は、ピッチ(コール)で対応し行き来されています。車椅子の方は、職員が付き添い移動しています。

鍵の締め方については障害特性として拘りがあり独自の締め方をされる方や、中で過ごされる際、閉められる方もいらっしゃいます。

基本的にトラブル予防の為、部屋で過ごされない時は施錠するようにしています。

市議会議員より

利用者代表者に対し 楽しいことは何ですか?

利用者さんより

遠出や行事が楽しみです。今年はジブリ展に行きました。

サビ管より

利用者主催の会議（みどり会）を行いニーズを汲み取り無理なく楽しめるような計画（地域のイベント、行事、旅行等）を立てています。

買い物支援については最近、地域企業の方もサービスとして、移動販売や訪問販売、開店前の販売の声をかけて頂いています。

自治会会长より

車椅子利用者の方が多くなっているとお聞きしました災害の対応は課題ですね。スタッフの皆様苦労されていると思います。

施設長より

災害時の対応は避難場所として旧若菜寮、加津佐に同じような施設があるので避難場所としています。災害の度合いによって避難所に行けない時に、近隣の避難所、地域の福祉避難所、分かれているのか？

市議会議員より

一時をしのがないといけないので健常者も障がい者も指定避難所（安全なところ）に逃げてそのあと考える。以前台風の時に安中地区の太陽寮が福祉避難所に設定されたことがある。ですが海に近いので行政も含めて考えていく必要があるでしょうね。

施設長より

若菜寮の地域も海拔は低いので津波の場合は近いところで明けの星寮の3階建ての縦への避難考えられる。隣のぱれっとビルは3階建てだがエレベーターが使えない状態なので車椅子の方は難しい。

父兄会代表より

施設内を見学して感じたことは、階段が狭いように感じました。また、エレベーターも担架が一台入るかどうかだと感じました。災害時の避難に対しての対応としてはどのようにされていますか？

施設長より

確かに階段がネックです。車椅子の利用者の避難を実際に想定し職員がモ

ルになり実践。いくつかの課題が見つかりました。火災訓練を行いましたが避難誘導も人員を考え、今後の訓練に取り組みたいと思います。また、独歩出来る方、車椅子の方の居室等の変更も視野に入れ検討も論点です。

6.まとめ

日頃より、災害時訓練には消防団や地域の方参加していただいております。また、地域、自治会での避難訓練等にも施設より数名ですができるだけ参加させてもらっています。父兄代表からの声もありがたく励みとなります。今回の地域連携会議において若菜寮の様子も感じていただけたのではないかと思っております。今後も、地域連携推進会議の機会がよりよりよい連携が取れる様進めて行きたいと思います。

(別紙)

若菜寮の概要説明

施設名：障害者支援施設若菜寮

障害種別：知的障害 身体障害 精神障害 難病

事業種別：施設人所支援生活介護 短期入所

＜施設の仕事＞

- ・障害を持つ方が自立した生活を送るための支援を行う。
- ・日常生活を送る為に必要な支援、食事や排せつ、入浴などの基本的な生活支援
や洗濯、掃除といった家事援助が含まれます。
- ・利用者に合わせた計画を立て、計画に基づいて生活支援や訓練を行う。

＜施設での役割＞

生活支援(生活支援員)

金銭管理(事務員)健康管理(看護師)

リハビリ訓練(理学療法士・言語聴覚士)

食事管理(栄養士)

若菜寮の概要説明

法人名:社会福祉法人悠久会

施設名:障害者支援施設若菜寮

新築移転日:令和元年8月10日

開設年月:昭和49年5月1日

事業種別:施設入所支援・共生型生活介護・共生型短期入所

施設入所支援の障害種別:知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病

入所者の状況

男性入所者の平均年齢: 66歳

女性入所者の平均年齢: 68.

歳人所者全体の平均年齢:

64.歳施設入所定員: 40名

現在の入所者数: 37名(男性27名女性10名)

日中の生活

共生型生活介護定員: 60名

現在の利用者数: 45名(内通所利用者8名)(介護保険サービス)2名

共生型短期入所: 4名 現在の利用者数: 2名 繁忙受け入れで1名

職員の配置

配置状況 1.5:1 サービス管理責任者 1.2 支援員数 23.8名

(内外国人技能実習生1名 看護師:4名

理学療法士1名 言語聴覚士1名(外部)

事務員2名 栄養士1名 生活補助2名